

太陽系誕生前に できた物質発見

東工大とハワイ大

東京工業大学の永島一秀研究員と米ハワイ大学の研究チームはモロッコなどで見つかった古い隕石(いん)石の中に太陽系が誕生する以前にできた物質が含まれていることを発見した。太陽系の起源の解明につながる成果という。

隕石の中には星間塵(じん)と呼ぶ宇宙空間を漂うちりが含まれている。モロッコとアルジェリアで見つかった非常に古い二つの隕石を調べたところ、百万個に一個の割合で太陽系が誕生した四十六億年前よりも以前にできたケイ酸塩と呼ぶちりが含まれていた。

ケイ酸塩は地球の大半を構成し、宇宙にありふれた物質の一つ。

どれほど古いかは不明だが、地球や太陽の基となった赤色巨星の残骸という。